

いくつかの要求が実現します 平成19年度予算案が発表されました

乳幼児医療費の助成

昨年12月議会では私の一般質問に、「通院医療費を小学校入学前まで拡充する」と言明していただきました。それが19年度予算に計上されました。「なお、入院医療費の助成については、今後の県の制度改正にあわせて小学校卒業まで拡充」されています。

並行在来線存続の取組

並行在来線存続問題は、上越地方の重要課題です。私はこの間、いろいろな場面でこの課題を取り上げ、提言もしてきました。

19年度は、「並行在来線となる信越本線、北陸本線については、沿線市町村に過度な財政負担を強いることなく県が責任をもって存続を図るとの協定に沿って、県や沿線自治体及び関係団体と連携し、維持存続に向けた対策に取り組み」とし、「抜本的な鉄道再生策について名古屋大学と共同で調査研究を行うことになりました。

また、この事業と密接な関係がある「総合交通計画策定事業」も強化されることになりました。

産業振興センター整備事業

私は議員になった最初の年(1996年)8月に東京都墨田区を視察し、進んだ中小企業対策を学んできました。そして直後の9月議会でも、墨田区の小企業振興条例と中小企業センターについて紹介しました。1999年(平成11年)の12月議会一般質問でも、墨田区のような「先進の」ところの進んだ経験は大いに取り入れて「行くよう求めてきました。

10年以上経てようやく、「市内のものづくり企業を一元的に支援し、地域の高度化と新たな産業構造の創出につなげる産業振興センター設置基本構想を策定することになりました。

地域自治区を全市に

上越市の13区に導入されている地

域自治区、地域協議会は、都市内分権を進めていく上で、重要な、先進的なものです。わが党は、この制度を旧上越市にも導入し、普遍的な制度として確立することを求めてきました。

これらのことを検討する「地域自治区県党事業」が、拡充されることになりました。具体的な進展が求められています。

予算書は二分冊に

合併して上越市の予算書や決算書は、たいへんな厚さになっていました。昨年の三月議会でも、「一般会計と特別会計を分けて二冊にできないか」と提案しました。担当課長は、「検討してみる」としていましたが、今回配布された予算書は私が要望したとおり、一般会計と特別会計の二分冊になっていました。

日本共産党上越市議会議員 杉本敏宏の

市政レポート

2007年2月25日 136
発行 杉本敏宏事務所
上越市東本町5丁目1番38号
TEL 025(524)3787 FAX 025(524)3832